

平成 30 年度学校関係者評価の報告書

熊本看護専門学校

本校は、その教育の充実を図り、目的、社会的使命を達成するため、本校における教育活動全般について自ら自己点検・自己評価を行っています。この自己評価を基に学校関係者評価を実施いたしましたので評価結果を報告いたします。

1. 学校関係者評価の概要と実施状況

(1) 目的、方針

- ① 関係業界・職能団体、卒業生、地域住民、保護者などの学校関係者が本校の自己評価の結果を評価することで、その妥当性を確認し、客観性・透明性を高めることを目的とする。
- ② 学校関係者評価により、本校の学校運営・教育活動における課題を明確にし、その意見を参考に学校運営の改善を図る。
- ③ 学校関係者評価は、本校の自己評価を基準に「専修学校における学校評価ガイドライン」及び本校の学校関係者評価委員会規定に則り実施する。

(2) 学校関係者評価委員会

委員氏名	所 属	選出区分
福島 和洋	熊本大学名誉教授	教育関係
村田 美和	熊本赤十字病院看護副部長	関係業界
陣野 洋三	町内会	地域住民
伊津野 恩	済生会熊本病院看護師	卒業生

* 敬称略、順不同

(3) 学校関係者評価委員会の開催

学校関係者評価は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、直接会議の開催は行わず、各委員からの聞き取り、文書でのやりとりとさせていただきご意見をまとめました。

評価日：令和 2 年 5 月 15 日から 5 月 29 日

(4) 評価のポイント

- ① 自己評価の結果及び内容が適切であるか
- ② 自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切か
- ③ 学校の重点目標や自己評価の評価項目が適切か
- ④ 学校改善に向けた実際の取り組みが適切か

2. 学校関係者評価の内容

学校関係者評価、自己評価に共通して、各項目の評価は下記に示す 4 段階で実施した。

- 4 : 適切
- 3 : ほぼ適切
- 2 : やや不適切
- 1 : 不適切

重点目標、自己評価項目 I～IX	委員からの主なご意見、学校関係者評価
重点目標 ①国家試験合格率 100%を目指す ②主体的に学ぶ学生を育てる ③受験者を増やすための広報活動を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・安定した国家試験合格率は教員と学生の努力の結果であり、評価できる。 ・看護師として働くうえで常に学び、成長していくことは必須であり、その為には主体的に学ぶことを身につけることは大事なことと思われる。 ・教職員で高校訪問することは大変かと思う。学生（各高校の卒業生）を同行させたほうが効果あるのでは。 ・ホームページは学校の特色がでていて、わかりやすい。
I 教育理念・教育目的 自校の特徴や具体的な内容を明記できるよう検討する。 自己評価：2.6	<ul style="list-style-type: none"> ・教育理念が少し長いように思う。要約して学生にとってわかりやすいものにしては。 学校関係者評価：ほぼ適切
II 教育目標 具体的で実現可能な表現になっていない。 教育内容と科目構成について問題点の整理が必要。 卒業時の到達目標が明確でない。 自己評価：2.8	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な健康観、看護倫理など今日の保健医療の現状に対応できる、具体的な目標のほうが良い。 ・学ぶことに意義を感じ卒業時、どのような姿、目標を達成すればいいのか、曖昧でなく明確な目標があると、学生もそれに向かい学習できるのではないか。 学校関係者評価：ほぼ適切

<p>Ⅲ 教育課程経営</p> <p>求める学習の到達点、成長について明確な根拠をもって教育課程を編成している。</p> <p>自己評価：2.9</p>	<p>学校関係者評価：ほぼ適切</p>
<p>Ⅳ 教育・学習・評価課程</p> <p>他の授業との重複・関連について教員担当者間での協議が不十分。</p> <p>自己評価：2.8</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業評価の結果を次年度、どのようにとりこまれていますか。学生により良い授業となるように工夫が必要。 <p>学校関係者評価：ほぼ適切</p>
<p>Ⅴ 経営・管理課程</p> <p>教職員の意思や考え方が運営・管理に十分反映されていない。</p> <p>将来構想のもとで中期・長期経営計画の立案が不十分である。</p> <p>自己評価：2.7</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・図書司書の配備、毎年一定の予算で専門図書の購入など図書室は充実されている。 ・ホームページは以前より見やすくなった。 ・必要経費・教育環境整備に必要な財政基盤は確保できていると思われる。 <p>学校関係者評価：ほぼ適切</p>
<p>Ⅵ 入学</p> <p>入学者の推移、選抜方法について十分に検討していく。</p> <p>自己評価：2.0</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の学校訪問・学校説明会の実施など熱心に取り組まれている。現在、取り組まれていることを含め、今後、様々な工夫が必要。 <p>学校関係者評価：ほぼ適切</p>
<p>Ⅶ 卒業</p> <p>卒業時到達目標を明確にする。</p> <p>卒業生の活動状況の把握とその体制が整えられていない</p> <p>自己評価：2.0</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・就業先と定期的に情報交換を行うことで、在校生への指導にも繋がっていくものと思われる。早急に体制を整えてほしい。 <p>学校関係者評価：やや不適切</p>
<p>Ⅷ 地域社会</p> <p>社会との連携に向けて、地域のニーズを把握して看護教育を通じて地域社会への貢献が組織的になされていない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民に対する健康や看護についての普及活動、具体的にはボランティア活動など組織的に取り組んでほしい。

自己評価：1.6	学校関係者評価：やや不適切
IX 研究 時間的保証が難しい状況であるが、必要性は認識している。 自己評価：2.0	・教員の研究活動の時間、研究費の確保の取り組みを。 学校関係者評価：やや不適切

3. 学校関係者評価の結果を踏まえて、今後の取り組み

- ① 委員の皆さまからいただいた評価結果は、教職員全員へ周知徹底を図ります。教職員全員で取り組むことが重要と思います。
- ② 評価結果、指摘事項への対応は内容を十分分析し、取り組む時期、緊急性などを考え決めていきたいと思います。
- ③ 評価方法についてご意見を受け、評価項目や評価方法、評価基準などについて、次年度に向けて検討していきたいと思います。